10 プロ野球選手

阪神タイガース・アカデミーコーチ
高濱祐仁さん
金田中学校・横浜高校出身

プロフィール▼平成8年佐賀市生まれ、身長185cmの元プロ野球選手。右投右打の長打力が魅力の内野手として「北海道日本ハムファイターズ」と「阪神タイガース」でプレー。実兄の高濱卓也さんも「千葉ロッテマリーンズ」で活躍した元プロ野球選手。

DATA▶

勤務時間	試合日・練習日
給料の目安	年俸440万～1億円以上
休日	試合や大会による
一般的進路	高校or大学▶ドラフト会議▶入団

【仕事内容】
日本野球機構の球団とプロ契約を結び、所属する球団を優勝に導くことが最大の仕事。試合で結果を残せなければ、契約が更新されない実力がすべての厳しい世界。

努力と挑戦を重ね叶えた小さな頃からもつ大きな夢

幼稚園からボールを握り始め、小2で当時住んでいた佐賀市のチームに入部。家族で高校野球やプロ野球の試合をテレビで見ていた影響で、なんとなく「プロ野球選手になりたい」と思っていました。ぼんやりした思いが確信になったのは小5の時。7つ上の兄(卓也さん)の球界入りをきっかけに本気で「プロ野球選手になる」と決意しました。

夢を実現するため家族で福智町に移住し、金田中から強豪・横浜高校に進学。毎日7時間程の血のにじむような練習を重ね一年生の春から四番を打ち、二・三年生の時には甲子園にも出場。そして2014年度「NPBドラフト会議」で、ついに「北海道日本ハムファイターズ」から7位指名を受けて入団することに。名前を呼ばれた瞬間は、夢を叶えた嬉しさと安堵で胸がいっぱいでした――

大谷選手ら有名選手とプレー心震えた人生のハイライト

入団後は一日でも早く一軍でプレーできるよう、チームメートが休んでいる間も自分の弱点を克服し、強みを伸ばす練習に没頭。結果、1年目から一軍に選ばれ、憧れの舞台に出場できることに。初めてフィールドに立った時は、大歓声の中、有名選手と並んでプレーすることに心が震えました。現在も活躍する大谷翔平選手(ロサンゼルス・ドジャース)や近藤健介選手(福岡ソフトバンクホークス)などと一緒に戦ったことは貴重な思い出です。特に印象に残っている試合は、令和3年7月6日の対埼玉西武ライオンズ戦。39試合連続無失点だった平良海馬選手からサヨナラ二塁打を放った時の興奮は今でも忘れられません。

「日本ハムファイターズ」で8年、「阪神タイガース」で2年を過ごし、昨年10月にプロ野球人生を引退。地元の友達や知人、コーチを含め、応援してくれたすべての人に感謝を伝えたいです。

「あなたの夢は、何ですか」輝く未来に向けメッセージ

大きな夢を叶え終えた今の新たな夢は、現在コーチを務める「タイガースアカデミー」の子どもたちに野球の魅力や技術を教えること。現役中に故障した経験を生かし、身体づくりの大切さも伝えていきたいと思っています。

後輩である福智町の皆さん、あなたの夢は何ですか――。今夢がある人は実現するためにクリアすべき目標を立て、夢に向かって頑張ってください！今夢がない人や迷っている人は焦らなくても大丈夫。興味があるものや好きなことにどんどん挑戦していけば、いつか進むべき道が見つかるはずです！皆さんの未来の可能性は「無限大」。小さくてもいいので毎日に目標を立て、理想の自分になれるよう一歩ずつ歩みを進めてくださいね。応援しています！自分も新たな夢に向かって頑張ります。

COLUMN▶

一生の相棒グラブ Buddyも展開中！

野球グラブのブランド「Buddy」のプロデュースも手がける高濱さん。プロ野球選手が実際に使う厳選された高級皮を使用したグラブを、子ども用から大人用まで幅広く展開中。詳細は「Buddy」公式インスタグラムで。

横浜高校時代の恩師・渡辺元智監督が高濱さんに贈った言葉「目標がその日その日を支配する」。この言葉には「才能のある人でも1日に刻める一歩には限界がある。夢や目標を達成するには今日一日を一所懸命に努力し、一歩一歩を全力で刻み続けることが大切だ」という意味が込められています。高濱さんは恩師の言葉を胸に、今日も子どもたちへ野球の魅力や技術を伝え続けています。

理想の自分になるコツ▶毎日に目標をもって、どんどんチャレンジすること！【by高濱コーチ】

↑広報ふくち2011年10月号は町HPで公開中。

COLUMN▶

「広報ふくち」2011年10月号で当時中学生の高濱さんを紹介

盟友と共にジャイアンツカップ優勝を成し遂げた、当時中3の高濱さんを紹介。取材で語っていた「兄と同じ舞台に立って一緒にプレーしたい」という夢は2015年9月30日の日本ハム対ロッテ戦において兄弟対決という形で実現！